

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立
大砂土中学校



学校教育目標 「自ら学び 考え 行動する生徒の育成」

校訓 「澁瀬と」

目指す生徒像

- かしこさ 自ら学び、進んで考える生徒
- ただしさ 正しく判断し、進んで行動する生徒
- たくましさ ねばり強く、進んで鍛える生徒
- ゆたかさ 思いやりをもち、進んで奉仕する生徒



■所在地：さいたま市見沼区東大宮 1-100-1 ■電話：048-684-8004
■FAX：048-684-8966 ■交通：JR 土呂駅東口徒歩 20 分

0 1 学校教育目標の具現化に向けた取組



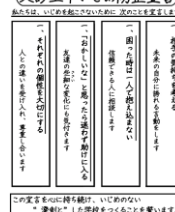
- (1) 自ら学び続ける生徒の育成
～これからの社会を生き抜くための道徳教育の実践～
(市教育委員会研究指定 令和 6 年度～令和 8 年度)
- (2) ユニバーサル・デザインの視点を取り入れた教室環境の整備。
- (3) 人権教育に係る授業の実践や地域との交流。
(体験出前講座)

0 2 いじめの未然防止に向けた様々な取組



- (1) いじめ予防授業を全校で実施。また、生徒会が作成した「大砂土中いじめ防止宣言」を元にいじめの定義や自分ができることを考え、話し合う授業を実施。
- (2) 澁瀬プロジェクト（学校いじめ防止基本方針）の共有 及びネットワブルに関する研修会の実施。（教職員）
- (4) 学校評議員連絡会における澁瀬プロジェクト（学校いじめ防止基本方針）の共有及び意見交換（地域）

（大砂土中いじめ防止宣言）



0 3 体験的活動をととして、まちづくりについて考える



- (1) 上野浅草で校外学習を実施。
歴史的なまちなみをいかした取り組みについてを
実地調査・発表を実施。（生徒）
- (2) 総合的な学習の時間を通して、
防災を中心にまちづくりについて考え発表した。
（生徒）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
片柳中学校

学校教育目標

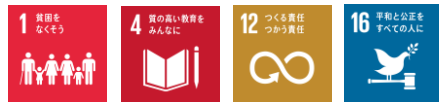
「夢をはぐくむ学校」

- 自ら学ぶ生徒
- 心豊かな生徒
- 心身を鍛える生徒



■所在地：さいたま市見沼区御蔵５５１番地 ■電話：048-683-3173
■FAX：048-683-8963 ■交通：ＪＲ大宮駅東口より、バス２０分

01 ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境の整備 &エコキャップ回収の取組



教室右前方にカーテンを取り付け、授業中はカーテンで掲示物を見えないようにし、目から入る刺激量を調整しています。また、全教室にデジタルタイマーを設置し、課題に取り組む時間を明確に示す工夫をしています。また、「エコキャップからワクチンへ～世界の子どもにワクチンを～」をスローガンに掲げ、生徒会活動の一環として、ペットボトルキャップの回収活動に取り組んでいます。



02 環境の変化・制服の多様化に対応の新しい時代の制服の導入



2022年度よりジェンダー平等に配慮し、男女同じデザインのブレザーを取り入れ、スラックス・スカートとリボン・ネクタイを選択制にした新しい時代の制服を導入しています。作製に向けて、各クラスの生徒の代表が制服検討委員として、デザインや生地選択などの制服作製に向けた会議に参加し、意見を出し合い、時代に合った制服を作製しました。



03 様々な分野の講師、企業と連携し、探究的な学習の充実



全校実施の人権集会では、『『人権』と『多様性』』という題で、性的マイノリティ・LGBTQについて学習しました。また、1学年では、企業が開発したコンテンツを使用し、生徒が「今、自分の興味のある仕事はIoT、AIの進化によってどう変わるか」といった仕事の未来像を考える学習を企業と連携、実施しました。今の時代を生きていくために必要な知識の基盤を学習しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 春里中学校** > > > > > > >

本校は、学校教育目標を「自ら学ぶ生徒 思いやりのある生徒 健やかな生徒」とし、その実現のため「共通理解 共通行動 家庭・地域との連携・協働」を学校経営方針と定め、様々な教育活動に取り組んでいます。

「確かな学力と豊かな人間性を育む、豊かな関わり合いを土台とした教育活動の実践」を研究主題に、学びの自律化に向けた「学び合う力、人間性等」に着目した資質・能力の育成を目指します。



■所在地：さいたま市見沼区大字小深作 2 6 8 - 1 9 ■電話：048-683-3458
■FAX：048-683-8979 ■交通：アーバンパークライン 七里駅徒歩 10 分

0 1 学びの自律化に向けた「学び合う力、人間性」に着目した資質・能力の育成。



本校では、学ぶ意義を理解し、自ら課題を見つけ解決できる力、自己調整しながら学習を進めていくことができる力の育成を目指していきます。

- (1) よりよい評価の在り方を模索していきます。校内で各教科の評価に関する実践等を共有することで、指導と評価の改善を推進し、生徒の学ぶ意欲を高めてまいります。
- (2) タブレットPCなどのICTの積極的活用を推進していきます。教員のタブレットPCを活用した授業研究を推進するとともに、家庭における学習にICTを活用するなど、各生徒の実態に応じた学習支援を実施していきます。



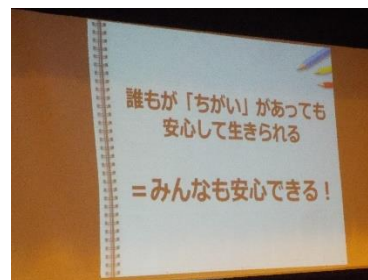
0 2 人権教育の充実

人権教育講演会、人権教育に関する校内研修の実施



本校では、例年講師を招聘するなどした人権講演会を開催しています。これまでに於いて障害の

ある人への理解、LGBT等への理解を深めるような内容で実施してきました。また、校内研修を実施し、教員の人権教育への理解を深める取組もおこなっております。今後も様々な状況の人々への理解を深め、SDGsの目標「人や国の不平等をなくそう」に寄与していきたいと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> 開校50周年 さいたま市立 七里中学校 > > > > > > >

- ① 「輝く笑顔 誇れる学校」の学校教育目標のもと、生徒一人ひとりが、学ぶ楽しさ、生きる喜びを味わうことのできる教育活動の推進
- ② 家庭及び地域との連携の一層の強化を図り、信頼され、愛される学校づくりの推進



■所在地：さいたま市見沼区東宮下1-1-1 ■電話：048-685-0603
 ■FAX：048-685-5101 ■交通：東武バス『宮下』バス停 徒歩5分

01 「人」「地域」から学ぶ、よりよいまちづくり



未来くるワーク体験の様子



ボランティア演奏の様子

本校では、「未来くるワーク体験」を振り返り、地域の働き手の想いを伝えるためPR動画を作成し、事業所の方を招き、保護者会で上映しています。

また、ボランティア活動の意義について講師の方を招いて学習してします。地域からボランティアの要請を受け、多くの生徒がボランティア活動に参加しています。

02 防災教育、性教育 ～私たちの未来を考える～



毎年1回、防災用備蓄米の体験学習を行っています。災害時の非常食づくりの知識を得て、「自助」「共助」について考えています。

また、助産師の方を講師に招いて、全学年を対象に「命の授業」を実施しています。性教育に関わる講話を通して、「性」について学習をし、「命」の大切さについて考えています。



防災用
備蓄米の
体験学習の
様子



講話の様子

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
大谷中学校



学校教育目標

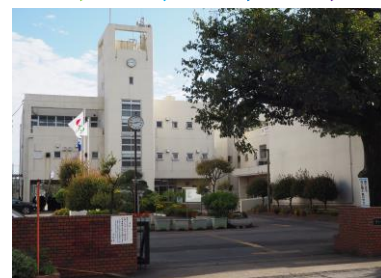
「自ら学ぶ 認め合う 大きな夢をもつ」

目指す学校像

「夢を実現していく生き生きとした学校」

学校経営方針

「寄り添い 導き 見届ける」教育の実践



■所在地：さいたま市見沼区大谷 1 6 3 4 - 2 ■電話：0 4 8 - 6 8 5 - 6 9 8 2
■FAX：0 4 8 - 6 8 5 - 5 1 1 8 ■交通：アーバンパークライン七里駅徒歩 1 5 分

0 1 地域の人材・施設を活用して本物に触れる



本校では、地域にある Rai BoC Hall で合唱コンクールを行っています。実際にコンサート等でも使用される会場を利用して、「本物」に触れる体験を積んでいます。また、地域の企業の協力のもと、未来くるワーク体験を通して、「本物」の仕事に触れることで、SDGs 目標 4「質の高い教育をみんなに」を推進します。



0 2 四季折々の花々の植え付け



本校は、季節の変わり目に、生徒・職員・PTA が協力して、校内に季節の花を植え付け、1 年を通じて四季折々の花々が彩り豊かに咲き誇ります。また、体育祭前に除草作業も行っており、四季折々の花々の植え付けを通じて SDGs 目標 15「陸の豊かさを守ろう」を推進します。

0 3 専門家と連携した学校保健委員会



本校は、講師を招き、全校生徒が参加した学校保健委員会を開催しています。



昨年度は、本校スクールカウンセラーから、「元気に生活するために～こんな時こそよい睡眠が大切～」をテーマに健康にとっての重要性、望ましい睡眠のとり方を学びました。自校体操で行う運動と、専門家と連携した学校保健委員会を通じて SDGs 目標 3「すべての人に健康と福祉を」を推進します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
大宮八幡中学校



本校は学校教育目標を「心豊かで たくましい 広い世界に生きる 人間の育成～好奇心こそすべての始まり～」とし、ESD（持続可能な開発のための教育）の研究を推進しています。人権、環境、国際理解、多文化共生などの視点から地球規模の課題を生徒自身のこととして認識し、中学生として今何をしなければならないのかを足元から考える教育活動を通じて、「ESD の考えを生かした、自ら学び、考え、行動する生徒」の育成に取り組んでいます。



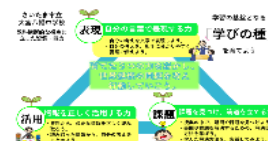
■所在地：さいたま市見沼区大字南中丸 3-5-7 ■電話：048-687-8800
■FAX：048-687-9301 ■交通：アーバンパークライン 大和田駅徒歩 18 分

01 持続可能な社会の担い手としての自覚をもった生徒の育成

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

○学校オリジナルの「学びの種」に基づく教科横断的な授業

本校では、各教科等の授業において、学習の基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の資質・能力の育成、総合的な学習の時間、道徳、特別活動においては、ESD で身につけさせたい 7 つの資質・能力を身につけさせる授業を実践しています。また、「知る」（1 年生）、「考える」（2 年生）、「行動する」（3 年生）とステージを設定し、このような資質・能力の育成により、本校の目指す生徒像の実現を目指します。



時間、道徳、特別活動においては、ESD で身につけさせたい 7 つの資質・能力を身につけさせる授業を実践しています。また、「知る」（1 年生）、「考える」（2 年生）、「行動する」（3 年生）とステージを設定し、このような資質・能力の育成により、本校の目指す生徒像の実現を目指します。

02 国際教育（多文化共生）の充実

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ユニクロからスタッフを招き、難民の現状や服のもつ力について学び、服のチカラプロジェクトに参加しています。

また、国際教育学習会を通じて、世界の現実理解と多文化共生社会を実感するとともに日本の素晴らしさについて改めて知る活動も行っています。こうした活動を通じて SDGs の目標 1「貧困をなくそう」や目標 10「人や国の不平等をなくそう」に貢献していきたいと考えています。

届けよう服のチカラプロジェクト



03 人権教育・環境教育の充実

人権教育講演会・認知症サポーター講習会の実施

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



地域の社会教育施設（五反田会館）との連携、地域の方々や人権意識の高揚を図る人権講演会や生徒による人権朝礼などを行っています。

また、高齢者にやさしいまちづくりを目指し、認知症サポーターキャラバンを実施しました。こうした活動を通じて、SDGs の目標 11「住み続けられるまちづくりを」、目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」に寄与していきたいと考えています。

認知症サポーター講習会



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



1 学校教育目標

「自他共愛」 ～ 明るく 豊かに たくましく ～

2 目指す生徒像

「高い自己肯定感をもち、夢や目標に向かって
他者と共に成長と自律を追求する生徒」

3 学校課題研究

『こどもまんなか すべての生徒が生き生きと過ごすためには
～ワクワクする学びの場の創造と自ら学ぶ生徒の育成～』



■ 所在地：さいたま市見沼区春野2丁目2番1号 ■ 電話：048-682-3951
■ FAX：048-682-3952 ■ 交通：東大宮駅東口よりバスで約15分「西三番街」下車

01 「個別最適・協働から自律へ」の実現を目指す授業実践



『主体的・対話的で深い学びの充実』に向けた研修や全教員参加の授業参観を実施しています。

また、生徒の自己肯定感育成のため、次世代型キャリア教育教材「エナジード」を取入れ、「生徒が自分の可能性をより理解し、自信を持って生きていくために」生徒の学びや非認知能力の成長過程をデータ化し数値化することで、生徒1人ひとりが成長を実感できる育成を実践しています。

02 食への関心を高める生徒主体の委員会コラボ企画



食育の取り組みとして、給食委員会・図書委員会、放送委員会の3委員会でコラボ企画を。給食委員会が主体となり、図書委員会・放送委員会と共に、「絵本に出てくるメニューを給食で味わおう」という活動を行います。各学年で創意工夫をしたポスターを作成して生徒昇降口に掲示し、春野中学校全生徒の食への関心を高めています。また、それらの取り組みを通して、日々の食について「自分事」として考えられる生徒の育成を目指しています。

03 全生徒によるボランティア活動の実施



今年度は、はるおかふれあいフェスティバルや春岡地区ウォークラリー、除草作業、レッツジョイクリーン活動等のボランティア活動に全生徒が参加します。地域の方々とのかわりを通して、地域について知り、持続可能な社会を確立することを目指し、具体的な対策の実現に向けて活動します。